

衆議院新潟県 5 区補欠選挙に向けて 統一候補の実現に向けた市民と野党の協議を呼びかけます

2017 年 8 月 28 日

安保法制の廃止と立憲主義の回復を求める新潟市民連合（市民連合@新潟）

10 月 10 日告示、22 日投開票で衆院新潟 5 区補欠選挙が実施されます。安保法制の廃止と立憲主義の回復を求め、市民と野党の共闘に取り組んできた市民連合@新潟は、野党による統一候補の実現に向けて、市民と野党の協議の促進を県内 6 野党に呼びかけます。

1. 今回の補選の重要な意義

10 月 22 日投開票の補欠選挙は、青森 4 区、愛媛 3 区、新潟 5 区の 3 選挙区で実施されます。今回の補欠選挙は、いずれも自民党の現有議席を争うものであり、安倍政権にとっては内閣支持率の急落からの「立て直し」への試金石となる選挙です。

安倍政権は、特定秘密保護法、集団的自衛権の行使容認、安保法制（＝戦争法）、「共謀罪」法など、国民多数の反対の声に背を向け、憲法違反の悪法を次々と強行してきました。今、安倍政権は、「森友・加計疑惑」、「自衛隊日報問題」等で、政治の私物化、国会での虚偽答弁、隠ぺい工作など、国民からの厳しい批判と怒りを浴びています。

今度の補欠選挙は、こうした安倍政権が推しすすめる政治に対して、国民が審判をくだす絶好の機会です。また、補欠選挙の結果は、憲法 9 条に自衛隊を明記し、9 条を空文化させる「安倍改憲」の企みに「ノー」の審判をくだす選挙でもあります。

2. 市民と野党の共闘の底力

昨年の参院選では全国 32 の一人区で野党統一候補が実現し、11 選挙区で勝利しました。新潟県では、参院選では森ゆうこ議員を国会に送り、その後の知事選挙で米山隆一知事を誕生させました。また、今年 7 月には、市民と野党の共闘の力で、仙台市長選挙で勝利しました。

参院選後、野党 4 党は昨年 9 月の党首会談で「総選挙のできる限りの協力」を確認、そして今年 6 月には「4 野党が協力して候補者調整を行い、一致したところを順次発表する」と総選挙に向けての野党協議を進めてきています。

市民連合の要望も受けて政策の面でも大きな進化を遂げています。安全保障問題では「安倍政権下での憲法 9 条改悪に反対」、有権者の関心が高い社会保障や生活の分野では「アベノミクスによる国民生活破壊、格差と貧困の是正」、「脱原発、エネルギー政策の転換」な

ど、野党 4 党協議を経て「共通政策」での一致点が積み重なってきています。

市民連合@新潟は、こうした到達点もふまえ、県民の願いを結集した「県内野党への政策要望書」をまとめ、今年 5 月に記者会見で発表し、各野党に届けました。

その底力が試されずみの「市民と野党の共闘」で 5 区補欠選挙を闘って勝利することが、安倍政権に代わる「新しい政治」への手応えと勇気をこの新潟から全国に発信することになるでしょう。

3. 野党統一候補擁立の協議促進を県内 6 野党に呼びかけます

安倍政権退陣につながる補欠選挙を県内野党、労働団体、市民団体が一致できる政策で団結して闘うことを県民は求めています。昨年の参院選の新潟県 5 区の与野党得票率は自公 48%、4 野党 50%で、野党共闘による勝機は大いにあります。野党がバラバラでは勝てません。野党が政策の一致で市民と団結して選挙戦を闘うことで展望は開けます。

この県民の期待に応えるために、県内 6 野党が同じテーブルについて話し合いを始めることを求めます。そして何よりも「市民と野党の共闘に基づく統一候補」実現に向けての協議の促進を要望するものです。

昨年の参院選、県知事選挙での感動と経験を踏まえて、安倍政権に代わる「新しい政治」確立につながる今回の補欠選挙を、「市民と野党が共闘した私たちの候補者」を応援して、元気に、楽しく、闘おうではありませんか。

今こそ、“市民と野党の本気の共闘”で、新潟の、そして日本の未来を切り開きましょう。